

【出席率】 会員61名中50名

【先々週の出席率】 94.74%

【先週のメイクアップ

3/11 田上あじさいRCへ 西巻克郎君

3/13 三条東RCへ
西巻克郎君 野島廣一郎君 佐々木常行君



会長挨拶

坂本 洋司 会長



ご挨拶を申し上げます。

今日は、低価額にして数量を売ること、また、お客様を呼ぶことで売り上げを確保、これを価額戦略の常道だと豪語している業界、会社をご紹介してみたいと思います。

皆様もご存知かと思いますが、首都圏の国道沿いでよく見かけますが、ファミリーレストラン「デニーズ」、この会社はセブン&アイ・フードシステムズという会社が経営をしておりますが、夕食の時間帯メニュー約30アイテムを実質値下げして、お陰で大変好調だそうです。また、ショッピングプラザ・イオンではPB(プライベートブランド)の内25アイテムを10~25%値下げを発表、他社との価額差を際立てる戦術で効果を上げているそうです。また、食パンですが、99円を88円に値下げしたところ以前の4.5倍の売り上げになったそうで、世の中、エネルギー・穀物を始めあらゆる素材が高騰している中での値下げ発表だからこそ効果が出ているものと思います。

また、低価額で靴の通販(通信販売)を主力としている会社があります。この会社は超低価額の販売で有名な会社でございまして、当社も同様のシューズを販売している関係で社名だけは知っておりますが、その会社が一足180円のスニーカーの再開をするということで業界では大変なニュースにただ驚きを感じております。今までも販売をしていたのですが、昨年、素材価額の高騰や生産地である中国の人件費上昇等により



国際ロータリー会長

ウィルブリッドJ. ウィルキンソン [カナダ]

第2560地区ガバナー 渡辺 敏彦 [新潟南]

第4分区AG 藤井 三明 [分水]

会 長 坂本 洋司

幹 事 船久保孝志

S A A 大 溪 秀 夫

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

生産販売を休止していたそうです。しかし、従来のお客様からの低価額の要望の声が多く、ひそかに経営努力を持って研究を重ねた結果、「新・¥180のスニーカー」の開発に成功したのだそうです。同社は10年前に¥180のスニーカーを発売、圧倒的な激安価額で話題を呼び、年間10万足販売できればヒット品と言われる靴業界の中でなんと200万足を販売する大ヒット品となったそうです。何故そんなに安く売れるのか、業界でも脅威を感じていたのですが、同社は、大量発注と中国の委託工場の閑散期を利用しての生産で低価額を実現できたのだそうです。当初は¥180でも利益を出していたのだそうですが、度重なる素材価額の高騰で最後は原価割れを起しかねない状況となり一時販売を休止したそうです。しかし、消費者からの受注は一向に減らず、開発・研究の結果、「¥180スニーカーが当社の象徴」として価額維持を最優先について先日から再開をしたとのことで、敬意と同時に企業努力の大切さを痛感した次第でございます。

幹事報告

船久保 孝志 副幹事

- 渡辺ガバナー事務所より 「米山カウンセラー研修会」 開催のご案内
と き 2008年 4月12日(土) 12:00~16:00
ところ ホテルオークラ新潟 3F
※ 吉井会長エレクト(カウンセラー)出席予定
- 馬場ガバナーエレクト事務所より「2008~09年度地区協議会」 開催のご案内
と き 2008年 5月17日(土) 10:00~18:15
ところ 県央地域地場産業振興センター

委員会報告

◎親睦委員会 銅冶 康之 委員長

旬例会

のご案内

と き 4月14日(月) **バス第1便 17:20 三条市役所前出発(入浴できます)**
バス第2便 18:00 三条市役所前出発
ところ 村杉温泉 風雅の宿 **長生館**
会 費 3,000円
取り消し 4月11日(金) 16:30までにご連絡下さい。
それ以降につきましては会費ご負担いただきます。

✿ 夜桜と旬の味に酔いしれませんか? 多くの皆様のご出席をお願い致します。



～ 3月17日 19,000円 今年度累計 764,000円 ～

- 坂本君 長い冬も終わり、いよいよ春の到来です。
今日は、丸山征夫会員の卓話です。宜しくお願い致します。
- 船久保君 丸山征夫さん、卓話ご苦労様です。宜しくお願い致します。
- 吉井君 いよいよ「PETS」が迫ってきました。久し振りに勉強させていただきます。
- 広岡君 待ちに待った春が来て、庭仕事がたくさんあるのに腰痛をだしてしまいました。
草取りの姿勢が一番悪いそうです。どうしよう?とりあえず春を祝して!
- 赤塚君、飯山君、木原君、坂井(範)君、佐藤(秀)君、滝口君、田代君、若井君
丸山征夫さん、卓話ご苦労様です。楽しみにしています。
- 石山君、大原君、田中(悌)君、野崎君、馬場(一)君、武藤君
BOXに協力致します。
- 鈴木(囀)君 本日のボックス担当。卓話の丸山さん、ご苦労様です。ご協力有難うございました。

卓話

「中国あれこれ」

丸山 征夫 会員



私は、名前をマルヤマユキオと読みます。マサオではありません。前の県知事は、平山イクオさんでした。同じ文字で征夫なのに、ユキオと読んだり、マサオと読んだり、イクオと読んだり、淑女のヨシコさんと同じです。トシコ、キミコ、スエコ、スミコ、ヒデコとも読むらしいです。

先々週、中国に行ってきたことを話します。3月3日が私の卓話の番でしたが、中国への出張のために渡邊先生に代わっていただきました。その節は有難うございました。

今回、新潟から上海、上海空港からそのまま国内線に乗換えて寧波というところに行きました。場所としては、上海から飛行機で50分位、杭の杭州の杭州湾を飛び越えて南の方へ直線で約150キロ。上がったらずぐ降りるのでなく、ぐるぐる旋回して50分位掛かります。上海の人口は1800万人位で、寧波は757万人位。上海に比べると小さな都市ですが、それでも寧波港での貨物取扱量は上海に次いで中国第2位。石油化学等もさかんで、活発な街です。

私達のホテルは丁度寧波駅の真ん前。1泊朝食付きで7500円位。部屋が二つありとても豪華でした。一つの部屋は居間、もう一つは寝室。シャワー室とお風呂が別々にあり少しいい気分でした。

翌日は日曜でしたが訪問先の会社は2社ともオープンしていました。最初は寧波から西へ50キロ位の余姚市(Yuyao)という町。1時間半かけての訪問先は電線やタップなどを作り、日本へ出している工場でした。1時間位色々見本室、組立工場などを見せてもらい、また1時間半掛けて寧波に戻り昼食。食事後、今度は寧波から南へ50キロ位。寧海市。40分位で着くとこの話が、運転手が道を間違え2時間も掛かってしまいました。帰りは50分位でホテルに着いたのでヤレヤレでした。

この寧海市での訪問先はLEDの懐中電灯の会社。ここも日曜なのに会社はオープンしてました。仕事を終えてホテルに戻り近くの海鮮料理屋で乾杯！ 海鮮と言えば海老とか魚ですが、その他に蛙、蛇、トカゲ、ワニ、ゲンゴロウ、さそりなどゲテモノも料理の材料として並べてありました。勿論お魚と海老を食べましたがなかなかの美味でありました。料理方法は蒸す、煮る、揚げる、炒める等で焼き魚は殆どありません。かの有名な餃子も今回は食べませんでした。

うちの会社は上海に女の子を一人雇っていますが、その子に日本での中国餃子の話をしてもあまり乗って来ませんでした。感じでは日本がわざと餃子に毒を入れ愛する中国を陥れようとしているのではないかと疑っているようでもありました。

これは中国の報道が日本に非があるかのような記事を載せているからであろうと思われます。実際、中国人は「ご免なさい、自分が悪かった」とはなかなか言わないし、あの野蛮で卑劣な日本人のことだ、自分で毒を入れて騒いでいるのではないかと思っている人達が殆どだと思う。衛星放送をみればBS1やBS2が入るのだから日本の報道も見る事が出来る人もいることはいるが、それは、まだ特殊な人達だけで多くの人達は中国の恥は知らないままである。話は飛ぶが戦争の時、南京には30万人も人口があったらどうか？ この件は上海事務所の子には掘り下げて話はしなかったが、私達の話から何か感じた様でもありました。私達の中国での食事は残留農薬を気にしてか野菜が少なかったようでした。韓国料理で焼肉を食べたり、海鮮料理にしたり、日本料理であったりでした。

さて、月曜日の朝、上海へ戻る為空港へ。そのタクシーの怖いこと怖いこと。大体高速道路は4車線。そこへ車が6台くらい横に並び、追いつ抜かれつのカーレース。車間距離が無い上に少しでも間が空くと割り込んでくるし、当方のタクシーも割り込んで行く。いつか自分が死ぬのは、中国でのタクシー事故かもとハラハラビクビクでした。南無阿弥陀仏。南無妙法蓮華経。思い出せば昔の韓国もそうだった、日本もそうだった。経済的豊かさが人の心をゆったりとさせるのかも知れません。

次は、上海での食事について話します。泊まったホテルの日本食堂で飲み放題食べ放題で168元(約2600円)を頼みました。日本酒、青島ビール、日本の焼酎、刺身、おでん、うなぎの蒲焼、焼き鳥、ラーメン、何でもあり、それで2600円、幸せでした。仲居さんにお酒の注ぎ方を教えたり、メニューの中の日本語の間違いを教えたりしました。特に“り”と“い”、“お”と“よ”と“す”、“る”と“ゐ”が混同されています。

それから日本人が中国へ行くと「紹興酒」と言って注文しますが、うっかりすると1本何千円もする高い酒を持ってくることがある。「紹興酒」は無いと言われることもあります。紹興酒の紹興は街の名前で、紹興市の酒が欲しいなら「紹興酒」、他の町の酒でも良かったら「花彫酒」(Hua Diao Jiu)と呼んだ方が良いです。丁度、西洋人が日本料理店で「サシミ、サシミ」と言って注文し、何の刺身か分からないと同じです。寿司屋に行って「スシクダサイ」じゃ板さん何を握ってよいか戸惑うことでしょう。

レストランに入ると、先ずはビール、これは我々日本にいると同じ。ビールを頼んでもどっこい中国ではなかなか出てこない。何故かと言えば、彼らは料理と一緒に出すのが礼儀と思っているらしい。ビールを先にくれと頼むと、我がテーブル担当の人が私達5人に一人ずつビールを次いで回る。やっと全部に注ぎ終わるとそのビール瓶を壁のところの別テーブルに持って行ってしまふ。

「乾杯！」を終えて、さてもう一杯・・・、だがビール瓶は遠くのテーブルの上。またゆっくり彼女が注いで回る。ビール瓶をひたたくり自分達でやるからと手酌し始めて、一息つくと今度はつまみが欲しくなる。むこうは「お通し」が出てこない。ピーナッツかザーサイか何かないかと言えばあるとのこと。持って来てくれと言えば山のように盛って出て来た。これはお通しでない、注文です。ピーナッツは茶色の皮の付いたもので油で炒って塩を振りかけたやつ、油が付いているので皮は邪魔になりません。

大体、中国ではビール瓶は食事のテーブル上に置かない習慣らしい。台湾では、ビール瓶は足元の床の上に置く。それからテーブルに着いてヒマがあったら茶碗や皿をティッシュで拭いたほうが良いです。同じ中国人でしたがお茶を注文しそのお茶を茶碗に注ぎ、それから捨てました。茶碗を洗うわけです。お店の人は平気な顔で見えています。日本だったら「あ、お客さん茶碗が汚れていましたか？すいません、取り替えます」でも中国は違います。事実ティッシュで吹いたらティッシュが黒くなりました。さて、食事も終わりお勘定です。我々日本人は割り勘。中国人には奇妙に見えることでしょう。彼らにはそうした習慣がありません。でもこれは英語で「Dutch Treat」と言い西洋ではあることです。

請求書の合計金額だけを見て支払ってはいけません。私は注文の中身を見たのですが、紹興酒を1本しか注文してないのに2本記帳されていて、これは間違いだと指摘しました。早速担当がきて書き直し、損をしないで済みました。このようなことは日常茶飯事です。聞いた話ですが、この紹興酒1本分、別のお客の分取り損ねてこちらのお金持ちから払ってもらおうとの魂胆で2本つける場合があるとのこと。支払時は要注意です。

PETS

(会長エレクト研修セミナー) 開催

3月22日(土)、馬場ガバナー事業、3大会の一つ「PETS」が南クラブのホストのもとハミングプラザVIPにて開催されました。

プログラム

- 9:30~10:00 登録受付
- 10:00~10:40 開会宣言・点鐘・国歌・Rソング(奉仕の理想)
R綱領朗読・握手タイム
挨拶・・・渡辺ガバナー
本日の目的・・・中條地区研修リーダー
出席者紹介
新年度の基本方針・・・馬場ガバナーエレクト
- 10:50~11:00 新年度委員会の基本方針
- 11:00~11:25 ガバナーエレクト事務所からのお願い
- 11:25~12:25 講演「和の心について」 境野勝悟様
- 12:25~13:15 昼食・休憩
- 13:15~14:00 講演「何故会員が増加するの？」 原田道子様(パワー浜松RC)
- 14:20~16:00 各分区ごとにグループ討議
- 16:05~16:10 総評・・・中條地区研修リーダー
- 点鐘
- 16:10~17:40 懇親会

